

りんご・きのこ・うどんの里



編集・発行

篠井地区ゆたかなまちづくり協議会（市民センター内）
〒321-2105 宇都宮市下小池町466番地1
電話：028-669-2515 FAX：028-669-2972
<http://shinoiweb.kuron.jp>



第25回記念 篠井うどんまつり 3月11日開催 会場：篠井地区市民センター

篠井の食文化である手打ちうどんは、「篠井と言えばうどん」と知名度の高い名産物で、このうどんを地域活性化の起爆剤と決め、平成5年に始めたのがうどんまつりであり、少し遅れて開店した手打ちうどん様名です。

今回で25回（平成24年中止）を数えるうどんまつりですが、毎回好評で来場者も着実に増えており篠井の知名度・イメージアップに欠かせないイベントとなっています。

今年は早食い競争を復活させるほか、第25回の節目でもあることから来場者に風船を飛ばして貰い、篠井のうどんの

PRと、参加者の夢を大空へ託したいと思っています。

なお、風船打ち上げは、開会式（午前10時）終了後を予定していますので、参加される方は早めのご来場をお願いいたします。

結びに、賑やかで楽しいうどんまつりとするため、多くの皆様のご来場を切にお願い申し上げると共に、開催に携わる関係者の皆さんには多大なご協力をお願い致します。

文責 平野 勝



篠井の秋まつり・文化祭が開催

篠井の秋まつり・文化祭は11月3日（木）に開催され、多くの方々のご来場を頂きました。センターのE V工事のためホールやロビーを使って、自慢の作品や地域力アップ教室での入選作品のほか多数展示されました。ほかの催しはグラウンドで行われ保育園や小・中学生の演技、郷土芸能保存会のお囃子・踊りそして勇壮なさんらく太鼓やカラオケなどが行われ、喝采を浴びていました。さらに、新米やキノコ汁の無料配布や農産物直売、健康相談、ふるさと食堂等、様々な

テントが張られそれぞれ賑わっていました。なかでも、今年初めて開設された「子どもコーナー」では、子ども向けの体を使ったゲームや景品のお菓子が用意され大変好評で大勢の子供達が並び順番を待っていました。今年は主会場がグラウンドと言う限られたスペースでの開催でしたが、皆様のご協力とご支援によりもっと続けて欲しいと言う声の中無事に閉会となりました。ありがとうございました。

文責 出海博之



「篠井はるな賞」

70歳以上の方には、選べます。どちらも1,1,000円で17回(5.1円分)乗れてお得です。ひご利用ください。

【1月末現在の登録状況】

登録世帯 213世帯
利用者数 16,812名
文責 若林秀世

少年大空教室

少年大空教室

少年大空教室

少年大空教室が、1月6日(土)に篠井地区市民センターにて行われました。お天気に恵まれましたが、風が無く子どもたちには嬉しい大会となりました。それでも、持ち前の走力で補い見事に大空高く、手作りの凧を揚げていました。文責 高橋誠一

サークル紹介「あゆみ会」

平成27年度のはつらつ教室卒業生と立ち上げた自主グループです。身体と心の維持向上を図りいつまでも自立した自分らしい日常生活が送れるようにと月1回第3火曜日15名で活動しています。健康づくりがしたい方などたても歓迎します。 文責 高橋則子

門松づくり

門松づくり

活動表彰

高橋敏之さんが(下小池(北)松寿会)、宇老連の大会に於いて、永年の功績が認められて表彰されました。おめでとうございます。今後のご活躍

飯山の獅子舞

し、延喜元年(901)を追討した鎮守府将軍たと言い伝えられてお

お腹につけた小太鼓を雌獅子の三匹で舞う一

などの願いを込めて、

篠井はるな賞

平成27年(2015)9月には災害のないと言う安全神話が伝えられていた「篠井地区」に関東・東北豪雨が襲い、一級河川「田川」の堤防が決壊、越水し日常生活道路や橋・耕地流失と言う大災害に見舞われました。

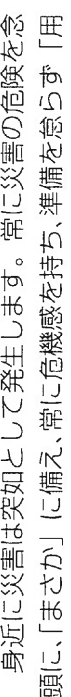
身近に災害は突如として発生します。常に災害の危険を念頭に、「まさか」に備え、常に危機感を持ち、準備を怠らず「用意周到」を心掛けましょう。

【新成人応援制度協力企業等一覧】
池田防災 代表取締役 池田増三、(有)石下商店、泉タクシー(株)、宇都宮農業協同組合 北部支所、晃陽中学校同窓会、学校法人 富屋学園山王認定こども園、篠井地区社会福祉協議会、篠井地区ゆたかなまちづくり協議会、篠井保育園園長 神崎圭子、篠井木材(有) 代表取締役 鈴木巖、(有)柴田農機具店 代表取締役 柴崎俊幸、社会福祉法人 下野三栄園、(株)新生工業 代表取締役 櫻井英治、(有)高橋製作所、(有)滝乃金田屋、(株)同緑化、(有)トータルインテリアサトウ、社会福祉法人 大門福祉会 徳次郎保育園 園長 高野順子、栃木県共立自動車学校、富屋地区連合自治会、(有)パーク工業 代表取締役 野呂通治、お好み焼き 福来美味、ホテル丸治、道の駅うつのみや ろまんちっく村 (株)アーマーズ・フォレスト、(有)ヤマタ 高橋材木店、ランスタッド(株) (50音順)

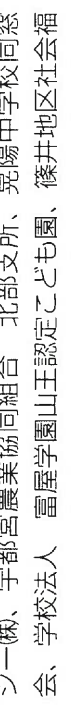
者の有限会社ヤマタ高橋材木店様にも工事費用面でのご負担をお掛けしながら無事に工事が完了し、昨年10月28日に公民館から隊列を組んで阿蘇神社の境内に向かい、正遷座祭により御神体を阿蘇神社にお移した際に獅子舞を奉納することが出来ました。

この場をお借り致しまして、お世話になった方々に、感謝とお礼申し上げます。

今年も門松づくりを12月25日



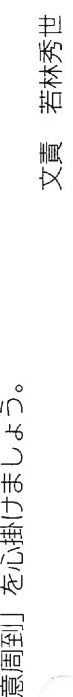
今年も門松づくりを12月25日



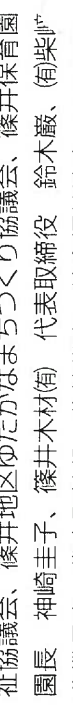
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



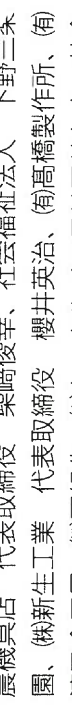
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



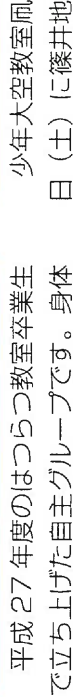
今年も門松づくりを12月25日



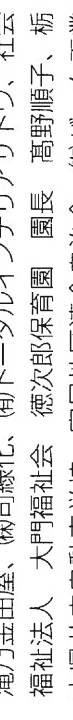
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



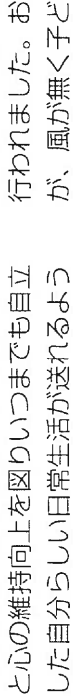
今年も門松づくりを12月25日



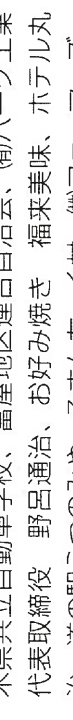
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



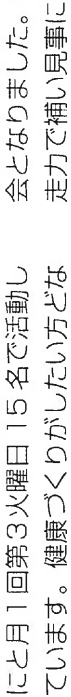
今年も門松づくりを12月25日



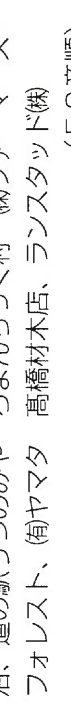
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



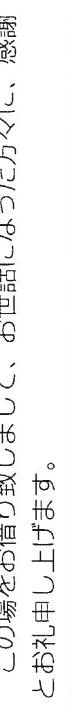
今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日



今年も門松づくりを12月25日

今年も門松づくりを12月25日

篠井の散歩道

第55回

※「しのいの散歩道」の冊子は、区内各自治公民館、集会所に設置してあります。また、篠井地区市民センターの図書室に郷土資料として蔵書登録しましたので、貸出しできます。ぜひご利用ください。

上篠井の日光市境（篠井村役場跡）にある旌忠碑

上篠井の北端の役場跡地の碑に前後して、この碑が建っている。

この碑（高さ二・六メートル巾一・二メートル）の書体は、篆書（実印の書体によく用いられる）で乃木希典によって「旌忠」と書かれている。

旌忠とは、忠義をあらわすことだそう。碑の裏面には、篠井村から日清・日露戦役に従軍し戦死した一五三名の名が刻まれている。

乃木希典は、嘉永二年（一八四九年）に長州藩士の三男として江戸麻布藩邸内で生まれ、維新後藩命により、仏式軍事教育を受けた。その後、陸軍少佐となり西南戦では歩兵一四連隊長として指揮をとった。この戦いで西郷軍に軍旗を奪われ自決を決意したが思いとどまったという。その後ドイツに留学し、帰国後日清戦争に出征しさらに、台湾総督となる。日露戦争では、第三軍司令官として旅順攻略にあたり苦戦のすえロシアを降した。

その後大将に昇進する。一九〇七年には学習院長となり、皇族の教育にあたり同年伯爵となる。



陸軍少佐当時、野木町の野木神社に詣で、その後八回程参拝があったと言う。現在西那須野町に乃木神社があるが、これは第十四師団長鮫島と那須町の人々を中心となり、後に乃木神社として設立されたものである。乃木は大正元年妻とともに、明治天皇に殉死した。

文責 阿久津義正

不法投棄監視パトロール及び収集

11月の1回目は昨年より少なめで、約トラック3台分位でした。前回と同じ場所で同じような家電（ビデオデッキ等）がありました。2回目は降雪のため不法投棄パトロール及び収集は中止となりました。ゴミステーションの利用については、決りは守られていますが、いまだに不法投棄があることに迷惑しています。

文責 岡川光雄



12月7日(木) 篠井地区婦人防火クラブで山林パトロールを実施

毎年消防団、消防後援会、防災会、市民センター、西消防署富屋分署のご協力をいただき、消防車両と一緒に仲根地区林道、桑原地区林道、上小池飯山線飯山ため池付近、中篠井学校林付近を看板の確認や補修をしながら、付近のゴミ拾いを行いながら巡回しました。

文責 福田由美子



市民センターEV工事終了

7月から始まりました市民センターのEV工事も1月末をもって完成の運びとなりました。長らくご迷惑をおかけいたしました。地域の皆様是非ご利用下さい。



ドンド焼き

今年も伝統行事の「ドンド焼き」が篠井地区の各所で、自治会や消防団員の協力により行われた。

篠竹や青竹・正月飾り等で塔が組まれ、小学生らがたいまつで点火し、バチバチと大きな音を立て燃え上がる炎に、歓声をあげていた。

無病息災や五穀豊穡を祈願する季節行事も、年々子どもの減少や環境問題等で縮小されてしまうのは、寂しいものですね。 文責 荻原庸男



【編集後記】

近年少子・超高齢化や人口減少社会の変化は著しくまちづくり協議会では、篠井の将来について真剣にとり組み検討されております。

住民1人ひとりが関心を持ち、安心して暮らし続けることの出来る、篠井ふるさとづくりに頑張りましょう。皆様方のご意見を期待しております。 文責 荻原庸男

篠井地区データ（平成30年1月末現在）

総人口 2,475人 男：1,218人
世帯数 977世帯 女：1,257人